

第1回輝く女性応援京都会議 概要

平成27年3月16日 16:00～17:30

京都ホテルオークラ3階 曲水の間

1 開 会

2 あいさつ

代表 京都商工会議所 立石会頭

女性の活躍は、創造的な事業活動や新たな付加価値を生み出す原動力であり、企業の持続的な成長に欠かせない。各企業の事情はあるが、まずは積極的に取り組むことが必要。京都商工会議所も、「輝く女性応援京商会議」を立ち上げ、今後「輝く女性応援京都会議」と連携して取組を推進していく。京都創生においても、女性の活躍により、京都が全国をリードしていきたい。皆様の積極的な協力をお願いしたい。

代表 京都商工会議所 田中元副会頭

男女雇用機会均等法施行から30年を経て、女性は経済成長の担い手として期待されるまでになったが、多くの課題が残されている。古くから女性が活躍してきた京都の風土、大学のまちとしての次世代へのメッセージとしても、「輝く女性応援京都会議」のもと、男女がともに希望に応じて能力を発揮でき、活躍できる京都づくりを進めていきたい。

京都府 山田知事

これから京都をさらに元気にしていくためには、更なる女性の活躍が必要。地方創生ではまさに地域に密着した女性の活躍が求められる。この会議への期待は非常に大きく、皆様からの声をしっかり事業化し、女性の更なる活躍に向けて積極的に取り組んでいきたい。

京都市 門川市長

京都は紫式部、清少納言、上村松園など、過去から女性が活躍し輝いてきた。女性がいきいきと働き、家庭を大事にし、地域で輝くことが、京都の未来、日本の未来を明るくすると確信している。そのため、京都市では、真のワーク・ライフ・バランスや、待機児童の解消に向けた取組を積極的に進めている。まち、人、仕事に加え、「心の創生」。京都がモデルとなるよう、「心の創生」も含めてしっかりと取り組んでいきたい。

京都労働局 森川局長

本会議は、女性の職業生活に関する活躍推進法案を先取りした京都らしい試みで

ある。第1子出産を機に女性の6割強が退職する状況は30年前から変わっておらず、週60時間以上の長時間労働者割合は、京都はワースト3位という現状にある。監督指導を強化しつつ、女性の活躍を経済団体とともに推し進めていきたい。

3 座長の選出

本会議の座長に、出席者全員の了承のもと、京都商工会議所元副会頭 田中田鶴子氏が選出された。

4 現状・課題等の報告

事務局から、(資料1)「企業等における女性の活躍を巡る現状と課題について」、(資料2)「輝く女性応援会議 in 京都」、(資料3)「女性が輝く京都に向けて」について説明。

5 意見交換

京都経営者協会 安藤会長

女性の活躍推進は、単に労働力不足への対応という問題ではなく、企業の経営戦略としてダイバーシティの観点から重要。経団連では自主行動計画の策定・公表を全会員1,300社に求めており、約400社が公表。京都経営者協会でも、定例会、講演会実施などの取組を進めている。今後、様々な主体と連携して、女性の活躍推進を着実に実行していきたい。

一般社団法人京都経済同友会 長谷代表幹事

女性の活躍に関して、中小企業の場合は、経営者のマインドが非常に重要。優秀な人材確保の観点から、これまでも中小企業において、男性が大企業等に採用される傾向の中、女性の方を採用してきた経過がある。今後は、海外のように、子連れで働くことができる職場づくりや短時間の正社員ワークシェアリング等の取組ができればと考えている。

京都商工会議所女性会 中西会長（京都府商工会議所女性会連合会会長）

京都商工会議所女性会では、4月から女性の活躍推進特別委員会を設置し、女性経営者の立場から女性社員を応援していく。地域、職場、家庭において、女性の希望に応じて活躍できる環境づくりが重要。退職しても、復職して活躍できるリターンジョブ制度、能力開発、長時間労働の是正等を積極的に推進していく。

京都府商工会連合会 沖田会長

自社では、社長・副社長が女性であり、女性従業員も400人中100人を超え、すでに女性が輝いている。女性の活躍には、モチベーションを上げて、自分の将来像を示しながら育成していくことが重要。

京都府商工会女性部連合会 松井会長

女性の活躍推進の取組は、零細企業では中々進められない。特に産休・育休期間の対応が難しく、その代替として退職した人材の中から採用するようなことができないかと考えている。女性自らが意欲を向上させることも必要。

京都府中小企業団体中央会 伊庭理事

女性経営者は、経済情勢を学んだり異業種交流の機会が乏しく、もっと研修を増やしていくことが必要。ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業が、従業員を貴重な人材として再認識し、職場環境を整備し、従業員もいきいきと働いているという話を伺った。経営者の意識が変われば優秀な人材の獲得や企業の魅力も増していく。

連合京都 橋元会長

連合の調査によるとセクハラ、パワハラ、マタハラの被害が多い。マタハラは、認知度が低い中、男性社員の理解がないのも原因。解決策として、経営者の理解促進や女性管理職の登用が挙げられる。労働者団体として女性の活躍を積極的に推進していきたい。

一般社団法人京都経済同友会 増田代表幹事

国際的なGEM調査では、我が国の起業・創業率は、国際的に見ても非常に低く、とりわけ女性は世界平均の1/2、スイスの1/3と低い。経済成長の観点からも、就業に加えて、女性の起業支援も本会議での論点に加えるべき。

6 行動宣言（案）の採択

女性が企業などで女性が持てる力を十分発揮できるよう、「自主的な行動計画の策定」等を掲げた行動宣言を出席者全員の承認を得て採択した。

7 閉会・写真撮影

採択された行動宣言とともに出席者全員の写真撮影を行った。